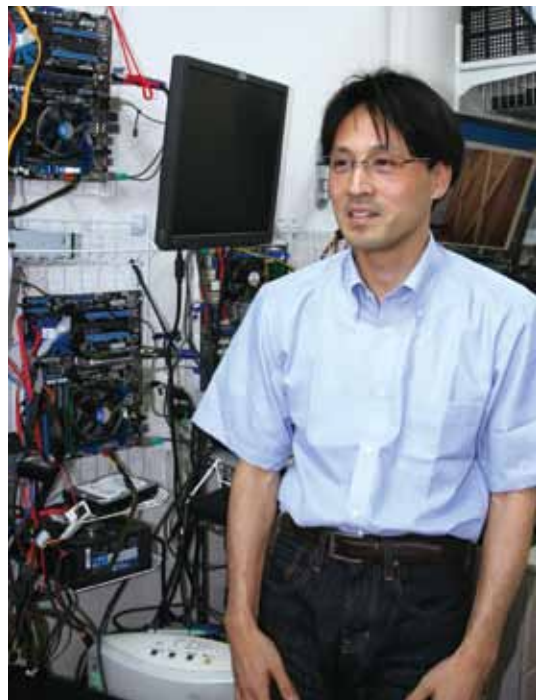


遠く九州からも依頼が来る、 仙台の1級整備士。

福室 PC サポート 佐藤雄一氏

未だ爪痕の残る東北、仙台。その郊外に居を構え、誠意と熱意で密度の濃いサービスを提供したいという佐藤氏。その内容にはもちろんだが、オフィス内の壁の有効活用にも驚かされた。

目の届く範囲で最高のクオリティを



「自分の目が届く範囲で最高のクオリティを出したいんです」
神奈川県でLSIの論理設計に15年携わった。職を辞し、故郷でインストラクターを始めたが、客が来ない。しかし、ちよつと調子がおかしいから診てくれな



いから診てくれな
に気づく。そこで方向転換し、2年間の独学を経て開業。早朝2時起きでわざとパソコンを壊して修復してみたり、最初の頃は午前中、配送のパートもして踏ん張った。げつそり痩せたようだ。肉体労働である。帰宅すれば倒れるように寝てしまう。この生活を5年続け、ようやく本業に専念できるようになったのだ。

仙台市の東北、福室という地にオフィスを構えるパソコン整備士1級の佐藤氏。「パソコン修理 仙匠」でググると福室PCサポートは2位である。修理メニューを見れば分かるがかなりの低価格だ。ほとんどの場合、7〜8000円で済むというから驚く。電話ですんでしまう場合は無料だとか。「儲からないですよ」と言われるが、自宅兼と、場所代がかからないのでそれも成り立つ。気兼ねなく来ていただけ、リピーターが多いというのもうなづけよう。初めて見る光景に目を奪われるのが壁。まるでオブジェのようにかかっているのは、稼働しているマシンだ。「スペースがないので有効利用のためなんです」

いかにという声があり、そちらの需要が多いことに気づく。そこで方向転換し、2年間の独学を経て開業。早朝2時起きでわざとパソコンを壊して修復してみたり、最初の頃は午前中、配送のパートもして踏ん張った。げつそり痩せたようだ。肉体労働である。帰宅すれば倒れるように寝てしまう。この生活を5年続け、ようやく本業に専念できるようになったのだ。

「信頼あつての商売です。技術じゃないんです」
そう、何事も信頼が一番だ。店舗を借り従業員を雇えば今の価格では無理だろう。基本的には規模を大きくしたくない。密度の濃いサービスを提供したいから。同業者から共同経営の打診を受けるが、この理由で今は丁重にお断りしている。

以前、会報誌に登場いただいた田之上さんに憧れ事務所まで訪ねて行ったことも。そんな頃、ネット上でパソコン整備士の文字を見つけ、これしかない！と2・3級を取得。その後数年かかり1級を取った。ひとめで分かるパソコン整備士の資格、だがむしろそれで終わりは無い。技術の進歩に伴い、自分のスキルアップを図っていかねばならない。今も日々勉強だ。しかし偏りは生ずるので、どう克服するかが課題であり、それには実践しかない。苦手なのはたとえば液晶のバックライト交換。ジャンク品をわざわざ買ってきてひたすら試すのだと言う。

「自分の目が届く範囲で最高のクオリティを出したいんです」
神奈川県でLSIの論理設計に15年携わった。職を辞し、故郷でインストラクターを始めたが、客が来ない。しかし、ちよつと調子がおかしいから診てくれな

そんな佐藤氏も、最初は全くの初心者だったのでHPがヒットしない時期が続いた。10ヶ月かかって今のテイストに落ち着き、それが功を奏したのだ。95歳の社長がいらして「ネットワークの設定をお願いしたい」と頼まれたことがある。年だからというのはいは逃げ口上ではないことを肝に命じておこう。深夜に電話が鳴り、でかけていったことも。ウイルスに感染しようなのだが、行ってみれば数十台のマシンがほぼすべて感染。真っ青な顔をされた数十人の社員がいた。こうして6年間やってきて、クレーム等はないとか。



「組織が大きくなればその分機動力は低下しますよね。個人ならばすぐに飛んで行ける。そこが強みです」そして、目が届く範囲で行える。

アプターフォローの充実も福室の売りだ。初期化した場合、福室では元のデータをきちんと戻すが100%元に戻るとは限らないため、以前できた事ができなくなったという声も出る。もちろん無料でフォローする。これが大手にはまねできない。「うちにはビジネスビジネスしてないんですよ」日に5〜6件の問い合わせに対し、受けられるのは8割ほど。一人で月100件をこなすのは楽ではないはずだし、地域密着を維持するのは並大抵の努力ではないのだ。「もう3年は休んでいませぬ」と聞き驚いた。